



TITLE:

火星近況

AUTHOR(S):

CITATION:

火星近況. 天界 1923, 4(36): 36-36

ISSUE DATE:

1923-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/159997>

RIGHT:

失はれる。星数は割に少ない。

○龍座 α

赤經 18 時 50.0 分 赤緯北 $59^{\circ} 17'$

4.6 等 : 7.6 等 位置角 346° 距離 30.3"

探しにくい星である。黄對青である。

○双子座 δ 二重星

赤經 7 時 15.3 分 赤緯 $22^{\circ} 8'$

3.2 等 : 8.2 等 位置角 213° 距離 6.4"

黄對青の美しい二重星である。3 時 80 倍で立派に見える。

○ ϵ 14 重星

赤經 2 時 47.1 分 赤緯北 $52^{\circ} 40'$

7.1 等 : 7.3 等 位置角 304° 距離 1.6

ペルセウス座に隣つた二つの星の大きな方で光度ほぼ等しく距離 1.6" であるから 3 時の良い試験星である。非常に困難な星でよほど良い 3 時レンズでないさ二つには見えぬ。3 $\frac{1}{2}$ 時なら見えるが 150 倍以上を要する。多分長週期の連星である。

○N. C. C. 1647 H. VIII 8 星團

赤經 4 時 41.4 分 赤緯 $18^{\circ} 55'$

比較的大きな星の群で散開して居て 2 時で立派に見える。直徑も大きい。

○M 7 8 N. G. C. 2068 星雲

赤經 5 時 42.6 分 赤緯北 $0^{\circ} 2'$

オリオン ζ の 20° 北にある不正形の星雲でリツクの寫眞では此の中に二三の星が混じて居る珍らしい形のもので 3 時でも珍な形をして居る此のすぐ北側に小星のそばにも一つ星雲がある。此のバックはオリオン星雲のあたりから北に延びて居る暗黒星雲部で薄星が少ない事で分かる。

○M 37 N. G. C. 2709 散開星團

赤經 5 時 47.1 分 赤緯 $32^{\circ} 32'$

非常に美しい星團で肉眼にも見える。星は割に小さいから 2 時ではそう澤山は見えぬが 10 時には壯大なものであつて星團中最美の一つである。

火 星 近 況

火星の最近の觀測及び豫想を御知らせする爲に觀測日記の様にして連續したものを書きます。

12 月 1 日

午前 6 時

3 時 150 倍 Seeing 6

視直徑未だ 4 秒で空氣も悪く甚だ困難。像は鋭く明瞭である。兩極は明るく爲に火星は桃形になつて居る。南極近くに明らかに暗色の海を認める。北極近くにも淡いものが認められる。

訂 正

前號「事務室より」中に廣告せし Wonders of the Heavens は Splenders of the Heavens にて 1 ポンド 3 シリングは 1 シリング 3 ペンスの誤につき訂正す。